事例No.	2140
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	愛媛県

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・ICT

事例種類	教育

事例内容・タイトル

県内一斉ライブ授業「えひめいじめＳＴＯＰ！デイ」

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

160 県内一斉ライブ授業 「えひめいじめSTOP！デイ」【愛媛県】

事業の概要

○ ライブ授業

・愛媛県内の小学校６年生と中学校１年生を中心に、約24,000人をオンラインでつなぎ、同時にいじめの問題について考えるライブ配信授業を実施。

＜主な内容＞

- ○ センター校からの問題提起
- ○ オンライン討議「いじめ問題について考える」
- ○ 県内の各小・中学校での話合い
- ○ ゲスト、アドバイザーによるコメント・助言

・民間放送局とタッグを組み、インターネット接続のスムーズな運営や会場とリモート校をつなぐ円滑な進行を実現。





○ ドキュメンタリー番組

・ライブ授業の様子やいじめ問題の解決に取り組む子どもたちの姿をドキュメンタリー番組（３０分）として地上波で放映。

○ えひめ愛顔（えがお）の子ども新聞（デジタル版）

・ライブ授業の様子をデジタル新聞にまとめ、県内すべての小中高校生に配信。

【参考情報】 人口：133.2万人
関連URL：http://ehime-c.esnet.ed.jp/jinken/index.html
（えひめ愛顔の子ども新聞）

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）

愛媛県がいじめの未然防止に向けて独自に取り組む「いじめ防止のためのアクション」として、平成25年度に「いじめSTOP 愛顔の子どもサポート事業」を立ち上げました。毎年、各学校の代表者が参集して、子ども会議や地域フォーラムを実施してきましたが、コロナ禍で参集ができなくなったため、発想を転換し、ネット環境を活用した県内一斉ライブ授業にチャレンジしました。



（愛媛県）



児童生徒の反応は？

授業後に実施したWebアンケートには、約18,000人から返信があり、97%が「参考になった」と回答。また、3か月後の追調査では、「子ども同士のトラブルが減った」と回答した学校が、全体の2割あり、いじめの未然防止に期待がもてると分析しています。



＜子どもたちの声＞

- ○ いじめはダメだと分かっていても、こんなに深く考えたことはなかった。
- ○ 自分がしんどかったとき、友達に助けられた。今度は、私が助けたい。
- ○ ためらわず相談したい。大人に相談しやすくなった。
- ○ いじめが起こらない学校をつくりたい。
- ○ 同じ年齢の人たちや専門家の人の意見が聞けてとても良かった。





今年度の取組は？

★ライブ授業　令和4年11月17日（木）
ｷｬｯﾁｺﾋﾟｰ　：「寄り添う。それは、大きなチカラ。」
新しい取組　：　演劇ワークショップの導入、児童生徒の意見をライブ授業にタイムリーに反映、ラジオ番組とのコラボ
★ドキュメンタリー番組の放映
★えひめ愛顔の子ども新聞（デジタル版）の発行



★担当：愛媛県教育委員会 人権教育課★

令和3年度事業費　7,997千円